IMG
ホールディングス

WELFARE GROUP PRESENTS
それU.K.!! ミライBRIDGE

目で読む
ラジオ

2024年10月20日（日）FM大阪851　出演回

【メディア出演】ＩＭＧホールディングス出演回 ー書き起こしー

WELFARE group presents それUK!!ミライbridge

2024年10月20日（日）18：００～　FM大阪８５１

（敬称略）

U.K.　　：大阪・難波にあるFM大阪の中に日曜日のこの時間だけオープンするパートナーズカフェがございます。マスターのUKです。今日もそろそろ“介護あかるくらぶ”のメンバーが一息つきにくるんだけどなぁ。誰が来るかな？

♪カランコロンカラン♪（カフェの扉が開く音）

きったん：こんばんは！”介護あかるくらぶ”のきったんです。

U.K.　　：あー！ご無沙汰です。

きったん：1ヶ月ぶりです。

U.K.　　：で、今日は素敵な紳士を二人・・・？

きったん：自己紹介お願いします。

安井　　：はい、初めまして。株式会社ＩＭＧホールディングス代表の安井です。

U.K.　　：そして？

濱中　　：同じくＩＭＧホールディングスの濱中です。よろしくお願いいたします。

U.K.　　：僕、以前濱中さんはお会いした事あるような・・・

きったん：そうなんですよ、実は濱中さんは以前、済生会中津病院の事務長をされていらっしゃって、その時に、まぁ１年ほど前ですかね？パートナーズカフェのゲストに出て頂いた事がございました。ですが今自己紹介いただいたとおり、株式会社IMGホールディングスという会社さんに転職をされまして、それで社長さんを連れてきてくれた、ということです。

U.K.　　：うわぁ、ありがとうございます。ちなみに、濱中さんはＩＭＧホールディングスではどのような業務をされているんですか？

濱中　　：えー、コンサルティング事業部に所属していまして、各病院の事務長さんに対して事務長会議をひらいてそこで勉強会をしたりとか、あとは各病院の例えば監査とかあった場合にその監査の対策をしに行ったりとか、主に教育を目的に今はしています。

U.K.　　：なるほど

きったん：ＩＭＧホールディングスさん自体は、全国で58の病院ですとか介護施設を運営されているグループで、赤字の病院などの立て直しをされているという事です。

U.K.　　：えー！？すごい、そうなんですね？若手社長じゃないですか！やり手じゃないですか！

安井　　：いえいえ、そんなことまったくないですが笑

U.K.　　：どのような業務なのか、また改めてご説明お願いします。

安井　　：はい。直近では東北の宮城県にございます公立刈田綜合病院を、約１年半前に公設民営化で我々IMGとして運営をスタートさせていただきましたが、その時には赤字幅がいろんなものを含めますと20億くらいの赤字だったんですが、昨年、まぁ今期ですねすでに1年が終わったという状況でほぼほぼゼロ、とんとんというところまでなんとか改善できたかな、という状況でございます。

U.K.　　：へぇーー、１年でどうやってそれだけドラスティックに変えられたんですか？

安井　　：えっとまぁ、ひとつは救急患者を24時間受入れる体制を強化したというところと、夜間の受入患者数が月間でも40件ほど増えましたので、結果として外来患者さんや入院患者さんが増えたのかな、という所になります。

U.K.　　：ある意味、会社の強化の仕方と近いものがありますよね？

安井　　：そうですね。

きったん：あの、安井社長が仰ってたのが、医療業界って専門家の方が多くて優秀な方がたくさんいらっしゃるって仰ってて、ただその優秀な専門家同士の連携がなかなか取りづらいというか、縦割りになってしまっていて、そこの部門間の調整をして専門家同士の力を最大限に発揮してもらうっていうのをIMGさんがしていると。

U.K.　　：そこに長けてらっしゃるという事ですか？

安井　　：あの、まぁ実際うちから病院に３名ほど事務方を派遣させていただいております。別途それとは事務以外では医療職も少し入れさせていただいているんですが、事務方を中心に部門間調整をすることによって病院がスムーズにうまく回ればいいのかな、と思っております。

U.K.　　：縦割りから、そこをぶっ壊して、ひとつのチームにしていこうという作業ですよね？それはまたすごいことをされていますね。

きったん：そうですよね。ただ、なんか看護師さんとかってけっこう個性強い人が多いイメージがあるんですけど、なんか「他所からやってきてー」とか全然いう事を聞いてくれない、というかのけ者扱いされて、とかそういうのを想像しちゃうんですけど

U.K.　　：はいはいはいはい、それドラマの見すぎじゃないですか？

一同　　：笑

きったん：なんか、そこで工夫されていたこととかなんかあったりするんですか？

安井　　：そうですね、確かによく最初は「お堅い人がきたぞ」というような見られ方をする事があったんですが、まぁ自分の場合でいくと、真夏の炎天下の中で病院の草むしりをしたりだとか、病院の周辺の掃除をしたりとか、基本的に人が嫌がるような事を“受け入れてもらう”という観点から率先して行っていたということはありますね。

U.K.　　：なんかこう異国に行って受け入れてもらうために自分をガラっと変えて努力する、その姿とまさしく同じ事をされていますよね。

きったん：コンサルティングってかっこいいイメージがありますが、こういう泥臭いこともたくさんされているのですね。

U.K.　　：そういう事ですよね。

きったん：あと、これもお聞きしたのですが、病院って1970年くらいの高度成長期の時にすごいラッシュで増えたみたいで、逆に今世代交代ラッシュで病院が建って50年くらいで再編とか合併が増えつつあるみたいで、なのでIMGさんの仕事もこれから増えていく状況みたいです。

U.K.　　：そうですね。でも赤字とかピンチの状況をチャンスに替えて軌道に乗せるほど、大変なことないと僕は思いますけど、その辺今後の抱負といいますか最後にお聞かせください。

安井　　：病院というものは、医療も介護もそうなのですが、地域になくてはならないもの、いわゆるインフラだと思っておりますので地域に根付いた地域医療・社会貢献をできたらな、と考えております。

U.K.　　：その思いだけで突っ走れるわけじゃなくて、草むしりをしたりいろんな事をやる、それでこそようやく相手に受け入れてもらえるという、その社長のお考え、ファンになりました。

安井　　：ありがとうございます。

U.K.　　：そして、濱中さんも引き続き事務方をしっかりと教育して育んで頂きたいと思います。

濱中　　　：はい。

U.K.　　　：また「ＩＭＧホールディングスの事を調べたい」という方は是非とも、ＩＭＧホールディングスと検索していただいたらホームページ出てきますよね？

安井　　　：はい。

U.K.　　　：そちらから、ご覧いただきたいと思います。本日はＩＭＧホールディングス代表の安井さん、コンサルティング事業部の濱中さんにお越し頂きました。本日はどうもありがとうございました。

一同　　　：ありがとうございました。